

TSUDOI

スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 Hyperliquid	 Aptos	 Bittensor
中堅	 Sei	 Sonic	 Maple Finance
新規			

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる「[必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術](#)」をご覧ください。



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。こちらのマークを付与した銘柄のみ、AIによる相場分析の情報も記載しております。



週次トークン価格高騰TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 6/27

本分析ガイドは、Coinmarketcap (CMC) サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模ベンチマーク比較	上昇率7days
#11	 Hyperliquid	Layer1	¥1,820,552,726,851	¥5,451.92	23.56倍 (ETH比)	-0.17%
#31	 Aptos	Layer1	¥452,922,688,860	¥703.24	24.50倍 (SOL比)	9.78%
#33	 Bittensor	AI & Big Date	¥422,676,361,312	¥47,441.18	—	-8.09%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap (CMC) で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、2.09%となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)



とは

TSUDOIRリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Hyperliquid：HYPE (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：機関マネーが本格流入で新局面へ

NASDAQ上場のLion Group Holding (LGHL) は、**6月18日にATW Partnersから6億ドルの資金調達枠を確保し、HYPEトークンを準備資産として蓄積する戦略を発表**した。この企業トレジャー戦略はSolana (SOL) やSui (SUI) と並び、機関投資家による本格的なトークン取得を示す重要なシグナルとなる。機関マネーの継続的な流入は需給改善につながり、中長期的にトークン価格の安定と上昇を後押しすると期待される。

AIによる相場分析：HYPE

27日(午前中)現在35.00ドル(5,040.00円)付近で横ばい。35.00ドルを割ると33.00ドル(4,752.00円)→30.00ドル(4,320.00円)まで下げやすい。一方38.00ドル(5,472.00円)超えなら40.00ドル(5,760.00円)や44.00ドル(6,336.00円)への伸び余地。30.00ドル周辺には買いが厚く、38.00ドル台を終値で突破すれば再加速が期待できる。ただし25.00ドル(3,600.00円)割れは長期の上昇が崩れる恐れがあるため注意。資金管理を徹底しよう。

Aptos : APT

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：新領域「Shelby」が切り拓く未来

Aptos Labsは[Jump Cryptoとの共同開発で、6月24-25日に高速分散型ホットストレージ「Shelby」を発表](#)した。Shelbyはリアルタイム配信、AI学習、DePINアプリケーションに最適化され、クラウド並みの高性能を誇る。Web3インフラ市場での差別化が進むことでエコシステムの利用拡大が見込まれ、トークンの手数料収入増加につながる可能性がある。また、[ワイオミング州のステーブルコイン候補チェーンとして選定されており、公共決済分野での採用が実現すれば、さらに大規模な需要創出が期待](#)される。

Bittensor : TAO

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：NASDAQ企業が戦略投資を表明

[NASDAQ上場企業Oblong社は6月6日に750万ドルの私募増資を実施](#)し、TAOトークンの長期保有戦略を発表した。[OblongのCEO Peter Holst氏はTAOを「次のBTC」と位置付け、企業トレジャリーに採用すると明言](#)。TAOトークンは発行上限が2,100万枚で、4年ごとの半減期により供給が減少していくため、機関投資家の恒常的な蓄積が希少性を高め、価格の弾力性が向上すると予測される。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 6/27

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap（CMC）における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#51	 Sei	Layer1	¥223,893,070,849	¥40.29	49.57倍 (SOL比)	53.12%
#74	 Sonic	Layer1	¥128,208,821,239	¥44.51	86.57倍 (SOL比)	-4.68%
#93	 Maple Finance	Lending	¥94,239,971,712	¥84.63	6.01倍 (AAVE比)	16.35%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、2.09%となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、**とは** 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Sei: SEI (GOOD)

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：米国規制が生んだ長期成長の最有力候補

今週、米ワイオミング州がステーブルコイン (WYST) の候補チェーンとしてSeiを正式に選定し、さらにCircleのIPO申請書でSEIトークンが最大保有資産(数量ベース)として公開された。

政府レベルでの規制承認により競争優位性を確立し、機関投資家の信頼も大幅に向上。今後WYST正式採用が実現すれば、公的資金の大規模なオンチェーン流入が期待でき、持続可能な需要増加とトークン価格の長期的な成長が極めて有望となる。

AIによる相場分析：SEI

27日(午前中)現在SEIは買い支えの厚い0.24ドル (34.46円) を守れるかが焦点。ここを保てば上昇に転じやすく、0.27ドル (38.76円) を超えれば0.30ドル (43.07円) 付近まで伸びが期待できる。一方、0.24ドルを割ると売りが加速し、0.20ドル (28.71円) 前後まで下押しする恐れがある。

Sonic : S

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：Coinbase上場で流動性革命が始まる

今週、大手取引所CoinbaseがSonicトークン（S）の新規取扱いを開始した。Coinbaseへの上場により、米国を中心とする機関投資家および個人投資家のアクセスが大きく向上。流動性が劇的に改善されることで、トークン価格の安定化とともに新規の投資資金流入が期待される。中長期的には認知度向上と取引量の持続的な増加が予想され、市場評価が段階的に引き上げられるシナリオが有力となるだろう。

Maple Finance : SYRUP

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。

注目ポイント：TVL急増、実需が支える成長の本物感

今週、Maple FinanceのTVL（総預かり資産）が年初比5倍となる17億ドルを達成した。これは投機的な要素ではなく、実際の利用者が急増したことによる堅実な事業成長を示している。レンディング収益も安定的に増加する可能性が高く、中長期的には信用市場の更なる回復とともに需要拡大が期待される。実需ベースの着実な成長が市場に再評価されれば、トークン価格の持続的な上昇につながるだろう。

大穴：新規銘柄 発掘ガイド 6/27

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング200位から500位に位置する銘柄を調査し、成長性の高い銘柄を選定する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄は、TOPや中堅銘柄の分析とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンのバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	直近7日間のCMC推移
今週該当する銘柄はありませんでした。						

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudo-i-platform.co.jp/>